

# 木本旧街道水彩画展

## 木本の生活に根付く商家を描く

三重県熊野市木本町には、旧街道と呼ばれる通りがあります。古くから、熊野三山を目指す古人が歩いた街道であり、明治時代に入ってから、木本の商いの中心を担う商家が軒を連ねました。

兵庫県出身の大島勇さんは、退職後に熊野に移り住み、熊野水彩画サークルに所属しています。趣味で始めた水彩画は、手軽な面もあるが、書き直しや、色の調整が難しいといいます。そんな大島さんが、熊野に来て興味を持ったのは、今も商いが続き、歴史を語る佇まいの商家が木本の日常に溶け込んでいることでした。



江戸の終りに建てられた中野陶器店



明治から三代続く酒屋 天野屋

昭和以降は、少しずつ旧街道から減っていきましたが、今でも商い続けられている商家がみられます。木本町の日常を大島さんのやさしい色使いで描いた水彩画展です。期間中は、商家だけでなく、松本峠から見た木本の町並みや花の窟前のお網茶屋を描いた水彩画も展示されます。水彩画をご覧になられた後、松本峠に登り、旧街道を通ってお網茶屋まで行ってみるのもいいですね。現代と古の生活が繋がる熊野の情緒を感じて頂けると幸いです。どうぞ、お気軽にお越し下さい。

展示期間 **平成25年6月15日(土)～平成25年6月22日(土)**

**9:30～17:00まで**

場所 **紀南ツアーデザインセンター内(入館無料)**

**〒519-4323 熊野市木本町 517-1 電話 0597-85-2001**

**※期間中は大島さんの水彩画ポストカードを1枚100円で販売致しております。**